



OBIHIRO ROTARY CLUB

DISTRICT 2500

No.3243

第3560回例会
平成30年1月31日

ばんりいっくろ
方針 万里一空 『Let's go』

会長 國枝千秋

2017-18年度国際ロータリーのテーマ ローター：変化をもたらす

1月17日例会 会員総数91名(内免除会員4名)

出席
報告

出席者数 48名

欠席者 26名

0 メークアップ 17名

91 (名)

■会長報告



國枝 千秋 会長

皆さんこんにちは。昨日、今日の朝は氷点下20℃超えの厳しい寒さとなりましたが、皆様お変わりないでしょうか。27日は緑が丘公園水祭り会場でローターアクトメンバーの雪像づくりの陣中見舞いに、工藤委員長、小白幹事と行ってきました。とても、私たちには手伝えるような気力もなく激励だけでしたが皆さん寒い中頑張っていました。

今日の例会前には次年度、第1回理事会も開催されています。皆様におかれましては今年度の事業と運営、次年度の準備が重なり大変な時期ですが宜しく願います。

私事です昨日、無事63才の誕生日を迎えました。LINEで孫からの動画メッセージ、Facebookで友達からメッセージを頂きました。うれしかったのと同時に時代が変わったんだなーと思いながら昨晩は、お祝いの焼酎・なぜかしら行列のできるメロンパン、焼き芋を頂きました「おいしかったです」。

以上、会長報告とさせていただきます。ありがとうございます。

■プログラム 「神田日勝 創作の秘密」

神田日勝美術館 学芸員 川岸真由子 様



今回は、「創作の秘密」と題し、神田日勝が描いた絵画作品の誕生プロセスと特色・発見をご紹介します。

神田日勝は1937年、東京の練馬に生まれます。戦時中であったため、日本が勝つという意味を込めて、日勝と名付けられたといえます。1945年8月に戦時疎開、開拓農家として鹿追町に入植します。

彼は32歳で病没しますので、その制作活動は1960年代に凝縮されていると言えます。19歳が「画家デビュー」の年。初めて地元帯広の平原社展に作品を出品します。23歳で札幌の全道展、27歳には東京の独立展に挑戦し、地方から中央へと活動の場を広がっています。遺作として独立展に出品された「室内風景」をきっかけに、中央画壇で一躍脚光を浴びました。

これまで神田日勝の作品については、画家自身が開拓農家だったことや若くして亡くなったことから、その生涯や実体験を結び付けられ、日勝が眼にしていたものやそのときどきの心境が絵画化されている、という語り口になりがちでした。戦後美術の大きな流れの中での立ち位置や、他の画家との関係性がいまいち明らかにされたいままにきているのです。確かに活動期間が短く、その間は鹿追に留まっていたので、交友範囲も広くはありません。だからといって日勝独自の完結した世界に生きていたかといえ、決してそうではないのです。

これは神田日勝がアトリエとして使用していた室内の写真です。右上の写真では、右手に作品が壁から20枚ほど積まれています。壁の部分に、新聞や雑誌からの切り抜きが、画鋲でたくさんはられています。この写真をみると、制作環境

にたくさんの情報、それも画像情報があることがわかります。彼がどんな画家の作品に影響を受けていたか、関心を持っていたかを示す貴重資料です。

神田日勝のデッサンは250点程確認でき、ほとんどがご遺族が保管する9冊のノートに収録されています。死馬のためのデッサンは、作品の下絵として最も豊富な点数を有するのです。これが「死馬」の油彩画です。

本作の制作背景としてしばしば語られるのは、彼自身、愛馬を失った実体験がある、ということです。ただし、制作動機だけでは、本作がどのように描かれたかは説明ができません。「死馬」のためのデッサンは26頁あるので、ここはいくつか抜粋してお見せします。

まずは、馬をメインに、ポーズや角度を調整したり、全体の構図、横たわる馬と人物の配置を検討しています。この構図をベースにして、今度は馬と人物を別々に、ポーズの研究へと移行します。

このように、下絵と完成図では、馬の傍らの人物の有無において、大きな違いがあります。油彩画にする際に、人物が消えているのです。実はこの人物は、先ほどみた、アルバムに貼られた新聞・雑誌の切り抜きの図様から、取られたものであることがわかりました。

比較してご覧ください。ポーズ、顔の表情、腹の衣服の皺までが忠実に転写されています。

元の絵画の特定はまだ出来ていませんが、この人物が、棺の傍らに座り、「死者を悼んでいる人物」として描かれていたことがわかります。この図像を元に、手足やポーズを変形させた結果、馬の傍らで「膝を抱える人物」が成立したことが、ここから読み取れます。

ポーズが展開するにつれ、元の原形は失われ、日勝のデッサンに取り込まれていくため、油彩画にその痕跡は残りません。

このように、神田日勝が他の画家の絵画を参照し、自作に取り入れていた事実は、今回の切り抜き調査・デッサン分析で初めて見えてきた新発見でした。「膝を抱える人物」の成立過程がわかったところで、ここからは、この人物が消えた後の行方について、ひとつの可能性を示したいと思います。

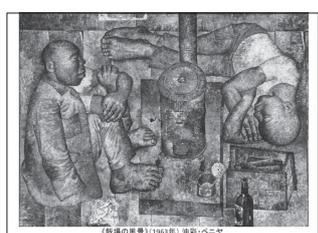
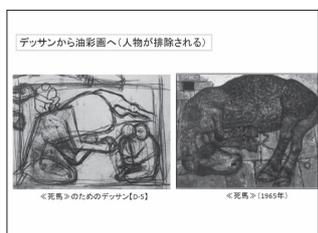
それは、完成作の「死馬」には不採用されたものの、別の作品に再利用されながら、その都度図像も展開する、という可能性です。例えば後に描かれた「飯場の風景」に、膝を抱える人物像があらわれます。1968年の「室内風景」に、ふたたび膝を抱える人物があらわれます。その後には描かれたデッサンです。人物の図像(服装やポーズ)は変わりませんが、構図が縦長に替わり、背後に壁があらわれました。このデッサンが下絵となって、最後の完成作、「室内風景」が描かれました。

以上の流れをふまえると、この画中の男は、死馬のためのデッサンにおいて、死んだ馬を見つめる人物の図像が再活用と発展を繰り返して形成されたものと考えられます。

今回の調査分析により、日勝がどのように作品を生み出しているか、という創作のプロセスが明らかになっただけ

でなく、この調査から得られた新たな視点、つまり、「この画中の男は、死を目の当たりにする男である」という見方から、今後《室内風景》に新たな解釈の可能性を拓くことが出来ました。

こうした研究の新たな展開を踏まえ、実は、東京オリンピックの2020年夏に、日勝の、大規模な回顧展を、鹿追、札幌、東京の3会場で開催する話も持ち上がっています。ぜひ、今後の進展に、ご期待いただきたいと思います。まずは、この2点を2018年6月から8月の当館開館25周年記念展で初公開しますので、ぜひ夏は鹿追にお運びいただければと思います。



■会務報告

小白 智志 幹事

- ①帯広5RC・芽室RC・音更RC合同例会開催のご案内
日 時 2月19日(月) 午後0時 会 食
午後0時30分～1時30分 例 会
場 所 北海道ホテル
講 師 株式会社ムーミン物語 事業推進役 大林 久人 様
演題:「メッツアの概要と地方創生に向けた姿勢」(仮)
※尚、帯広西RC、2月15日(木)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、2月16日(金)の繰下げ例会と致します。
帯広東RC、2月20日(火)の繰上げ例会と致します。
帯広RC、2月21日(水)の繰上げ例会と致します。
- ②第6分区IM(都市連合会)開催のご案内
日 時 平成30年3月24日(土) 午後1時30分(受付:1時より)
(懇親会)午後5時45分～午後7時15分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
・基調講演14:00～15:00
RI第2500地区ロータリー財団監査委員長 小船井修一PG
・特別講演15:10～17:00
スピードスケート選手による講演(予定)
※尚、帯広RCは4月4日(水)の繰上げ例会と致します。
- ③帯広RC、第6分区ガバナー補佐公式訪問例会開催のご案内
日 時 2月7日(水) 午後0時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ④帯広南RC、2月12日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。
- ⑤帯広西RC、創立記念夜間例会開催のご案内
日 時 2月22日(木) 午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ⑥帯広北RC、創立記念夜間例会開催のご案内
日 時 2月23日(金) 午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ⑦帯広RAC、2月第1例会のご案内
日 時 1月31日(水) 午後7時～
場 所 緑ヶ丘公園内氷まつり会場
例会内容 氷祭り～極寒に挑む～

■委員会報告

親睦活動委員会

- ・ニコニコ献金
山本 健一 会員
今日、例会を担当させていただきます。
- ・前期終了御礼
國枝 千秋 会員 佐藤 幸宏 会員 野村 一仁 会員
和田 賢二 会員 佐藤 真康 会員 小白 智志 会員
飛岡 抗 会員 中島 一晃 会員 川上 義史 会員
五十嵐聖二 会員 及川ゆかり 会員 大和田三朗 会員
猿川 陽介 会員 渡辺喜代美 会員 橋枝 篤志 会員
河村 知明 会員 小沢 昌博 会員 合田 倫佳 会員
山崎 育子 会員 池田 健太 会員 森下 勉 会員
小水 基弘 会員 工藤 稔 会員 進藤 敦史 会員
- ・出席報告
出席委員会
1月31日 会員総数91名(内免除会員4名) 出席者数48名(内免除会員2名)
1月17日 メークアップを含み出席者数65名 出席率73.0%

■次週プログラム予定

- 2月7日(水)「第6分区ガバナー補佐公式訪問」
RI第2500地区第6分区ガバナー補佐 佐藤 三幹 様
IM実行副委員長 家内 裕典 様
セクレタリー 深井 弘美 様
「米山記念奨学生、齊光斗様卓話」
(米山記念奨学委員会)



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30 例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234
●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日
●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
●発行 / クラブ広報
●委員長 / 河村 知明・副委員長 / 中森 保・新田 潔
委員 / 高原 淳・工藤 大輔・石神 美代・倉野 賢・仁木 宏一
●ホームページアドレス / http://www.obihiro-rc.jp